

# 合格体験記

## 大阪大学文学部人文学科 (女子)

私は3年間、学校の授業を第一に考え勉強しました。きちんと予習をして授業に臨み、そして復習する。これは、思うより簡単なことではありません。私は吹奏楽部に所属していたため、帰宅してから予習復習をしたり課題をこなしたりすることは本当に大変で、毎日が精一杯でした。しかしその積み重ねがあったからこそ、本番で自分を信じることができ、最大限の力を発揮できたのだと思います。

そして、私はわからないことをそのままにせず、毎日のように職員室に通い、ひとつひとつ疑問を解決するようにしていました。

先生方は、理解できるまで熱心に答えてくださり、それに加えて、その質問に関連したことまで教えてくださいます。さらに、その時にかけてくださる応援や励ましの言葉に何度も元気づけられました。私が3年間頑張り続けることができたのは、先生方の力強い支えがあったからです。

これから勉強する中で辛さや苦しさを感じることも、きっとあると思います。いくら頑張っても予習や課題の終わりが見えなくて投げ出したくなったり、成績が伸びず不安で焦ったりしたことが、私自身何度もありました。そんなときは、誰かに話してみてください。私も家族や先生、友達に、たびたび相談していました。苦しいときは一人で抱え込まず、周りの人を頼ってください。皆さんを大切に思って、力を貸してくれる人が必ずいます。千鳥の卒業生として、皆さんの健闘を祈っています。

# 合格体験記

## 大阪大学外国語学部トルコ語学科 (男子)

僕が皆さんに伝えたいことは、入試において「得意教科があること」が大きな強みになることです。得意な教科が一つでもあれば、それに引っ張られるように他の教科もできるようになり、安定した得点が望める教科があることによって、落ち着いて試験に臨めるようにもなります。だから、どの教科でもよいので、得意な教科を作ってほしいと思います。その「得意教科」を作っていく過程で、先生に質問をすることが大きな役割を果たします。どんな些細な疑問であろうと、気になったらそのままにせず、質問をする習慣をつけてください。先生は必ず答えてくれます。学力をより確かなものにできるだけでなく、やる気の維持にも繋がり、さらなる学力向上が期待できます。

もう一つ、伝えたいこと——それは、向上心やハングリー精神といったものが、受験の結果を左右するということです。僕は三年の秋までは、阪大に行こうだなんて思っていませんでした。最初は国公立に入学できればそれで良いと思っていました。——実力・伸びしろに対して志が低く、目標も漠然としているうえに、その目標を定める時期も遅かった。そのため、危機感を覚えることもなく、慢心し、努力を怠った。結果として、合格こそしたものの、少し志望を下げるようになった。——正直、もっと真剣にやっていたら・・・という思いはあります。だから、これから受験に臨む皆さんには、そうならないよう、早いうちから高い目標を設定し、それに向け計画的に、現状に満足することなく自分の力を磨き続けてほしいと思います。3年の前半までに、目標を見据えつつしっかりと、得意教科を軸に基礎を固め、3年の後半から本格的にセンター試験や志望大学の対策を行っていけばきっと合格は見えてきます。・・・と、よくこのように言われますがこれは難しいです。自分に負けそうになることが何度もあります。実際に僕は何度も自分に負けました。けれど、最後に何とか踏みとどまることができたのは、先生や友人のおかげです。先生方がよく「受験は団体戦」と仰っていましたが、僕はこの言葉は「一人一人が周囲の人と支えあいながら、自分自身と戦う」という意味だと思います。一人ならば心が折れてしまうような場面でも、周囲の人々の助けがあれば乗り越えられます。

最後に、千鳥の先輩として、一人でも多くの千鳥生が僕の成功談と失敗談を生かし、理想の進路へと羽ばたけることを願います。それから、受験生活の中でお世話になった先生方、家族、友人には本当に感謝しています。ありがとうございました。

# 合格体験記

## 大阪大学外国語学部モンゴル語学科

(H26 卒男子)

僕は去年（平成26年）受験に失敗し、浪人しました。ここでは成功ではなく、失敗を主に語ることでみなさんが受験を成功記だけに偏らず、より広い視野で考える機会となることを願っています。

1つ目は、世の中の勉強法を信奉したこと。現役の時、僕は成績のいい人を真似すれば成績は上がると思い込み、真似をしては失敗し、他の勉強法を試しては失敗し、の繰り返しでした。書店やネットでは、『東大生の勉強法』などのキャッチフレーズがあふれていますが、何の根拠もなく信じてはいけません。浪人中に一緒に勉強した東大・京大・医学部生は本に書かれているような特別なことはせず、何度も同じテキストを繰り返してただけでした。先生を信用して予習・授業・復習のサイクルを定着させ、深く理解しながら何度も復習すれば自然と成績は伸びます。安心してください。2つ目は、センター試験を甘く見ていたこと。センター試験は二次試験よりも簡単だと思い、後回しにしてしまう傾向がありました。しかし、これは大きな間違いでした。二次試験対策をしていればセンター試験は自然とできるようになると安易に考えてはいけません。センター試験と二次試験の形式は別物であり、センター試験のレベルも近年は非常に高いので、過去問を解くなど早めに対策をしておいたほうが良いと思います。3つ目は、戦略を立てなかったこと。僕は苦手科目の数学の克服に変に固執してしまい他の教科をしっかり伸ばすことができませんでした。個人的には、得意教科を確固たる自信が持てるほど伸ばすことも選択肢の一つだと思います。誰でも得意・不得意科目はあると思うので、大学の合格最低点・平均点を調べて、自分に合った本番での得点のイメージをしっかり持ってください。最後に、僕が一番大切だと思っていることについてです。それは生活習慣です。僕は勉強量を重視し、夜遅くまで勉強することもしばしばありました。しかし、これは自らの生活習慣が崩れ、勉強時間も不規則になってしまうのであまりオススメは出来ません。規則正しい生活をすることが何よりも受験を計画通りに続けられるコツではないかと思っています。

受験勉強は長く、やめてしまいたいと思う時もあると思いますが、そのような時は友達・先生・家族・先輩を頼ってみてください。きっとみなさんに力を与えてくれます。元気を与えてくれます。僕もその中のひとりでしたが、自分の進路に不安を抱く人もいます。そのような時は一人で悩まずに早めに誰かに助言を求めてみてください。意外とあっさり解決することもありますよ。友達・先生・家族・先輩のおかげで、僕は長い受験勉強を乗り切り、合格できたと思っています。時には反発することもありましたが、今は心から感謝しています。今度は僕がこの体験記を通してみなさんのお役に立てることを願っています。

# 合格体験記

## 九州大学工学部電気情報工学科 (男子)

僕はセンター試験の結果が悪くて、第一志望の九州大学はD判定でした。なので結果が出た直後は出願する大学を下げようと思っていたけど、担任の先生や友達からの応援もあって思い切って挑戦することが出来ました。今では先生に言われた様に強気でいって本当に良かったと思っています！

僕が二次試験で逆転することができたのは、得意科目でしっかり点が取れたからだと思います。僕は得意科目が数学と理科で、その2つは授業を疎かにせず、演習もたくさん積んでいました。だから基礎がしっかり出来ていて、二次の難しい問題にもじっくり考えて解くことが出来ました。

僕が本格的に受験勉強をし始めたのは部活を引退してからで、そこからは千鳥祭の時以外は勉強にシフトして頑張りました。その頃から成績も伸びていって、模試の判定もA判定になることもありました。現役生は部活を引退してからでも十分伸びると思うので、後輩のみんなにも、部活や千鳥祭などの楽しむところは全力で楽しんで、今の段階では厳しくても自分の一番行きたい大学を目指して頑張ってくださいと思います！

# 合格体験記

## 九州大学工学部物質科学工学科 (女子)

私は化学が好きで化学系の研究がしたいと思い、始めは理学部の化学科を志望していました。けれど理学部の化学系は机の上で理論的なことをやるのが多い、そして工学部の化学系は実験なども多く、より実践的な事ができる、という話を聞いて工学部の化学系に進学しようと決めました。理学部の化学と工学部の化学系で迷っている人がいるならぜひ参考にしてみてください。

勉強方法についてはやはり入学当時から先生に言われていた予習、授業、復習のサイクルが大切だと思いました。

特に3年生は復習に力を入れて受験に必要な学力を確実に身に付けていってほしいです。また定期考査も大切ですが全国模試も大切にしてください。全国模試というのは専門の先生がセンター試験や二次試験の研究をして作っている模試なので受験に必要なポイントや試験に出やすいポイントを押さえてあります。実際私は模試の自分に必要な科目の所だけを破りとり、それをノートに張って問題を解き直すという方法を行いました。すると本番は似たような問題もそれなりに多く出題され、繰り返しやっつけて身につけているので確実に点数を取ることができました。だから模試をやりっぱなしにしないで自分の実力を知るための物だけでなく受験に必要な学力を身に付ける物として是非有効に利用してみてください。

# 合格体験記

## 神戸大学経済学部経済学科 (男子)

僕が、受験を満足いく結果で終わらせることができたのは、モチベーションを維持することができたからだと思います。僕も当然長い受験勉強の中では、疲れて嫌になることもありましたが、そのたびに自分を何とか奮い立たせて机に向かわせていました。

例えば僕が日々の勉強から逃げ出したくなるときは、自分は塾に通っていなかったこともあり、「塾に通っている人達には絶対負けたくない、負けてはならない」とか、「この大学では満足できない、もっと上を目指さなければならない」だとか、闘争心を常に尖らせていました。流石に口には出しませんでした。受験の間はいつも心の内に潜めていました。

今となっては闘争心を燃やしていたことも懐かしく思えますが、当時の自分は毎日焦って悩みました。もう二度と経験したくないような時間でした。皆さんはこれからそんな時期を迎えます。苦しい思いもすると思います。それでも、苦しいときは周りを見て、刺激を受けながら頑張ってください。

# 合格体験記

## 神戸大学発達科学部人間環境学科 (女子)

学校の授業、予習、復習、課題、テストを疎かにしないことが合格への一番の近道だと思います。土台となる基礎ができていなければ、センター試験にも二次試験にも対応することができません。私が本格的に受験勉強を始めたのは、部活を引退した高3の6月でした。周囲の人と比べ、焦りもあったけど、予習をしてから授業に臨み、少しでも復習をし、課題をきちんとやり、基礎を身につけることを重視していたので効率的に勉強を進めることができました。定期テストや小テストは良い復習の機会として利用しました。また、勉強には周りの環境が大切になってきます。私は学校の教室や自習室で、頑張っている友達に刺激されながら勉強しました。

また、大学や学部によって、配点や科目、出題傾向が異なるため、志望校を早い時期に確定させることが大切だと思います。私が志望校を決めたのは、高3の12月でした。二次対策に出遅れ、もっと早くから将来について考えておくべきだったと後悔しました。

受験は一人で乗り越えられるものではないと思います。私は先生や友達、家族などたくさんの方の支えがあったからこそ頑張れました。本当に感謝しています。これから受験をむかえるみなさんは、本番が近づくにつれて不安や焦りがでてくるとと思います。そんな時は一人で悩まず、誰かに相談してください。そして、自分なりの勉強スタイルを見つけ、最後まで諦めずに頑張ってください。

# 合格体験記

## 広島大学法学部法学科 (女子)

私は、笠岡高校で大学入試に挑む事が出来て、本当に良かったと思っています。私は塾へ通っていませんでしたが、必要な事はここで学べました。先生方は、受験のプロです。勉強の基礎は、先生に言われた事を完璧にこなすだけで十分だと思います。問題集も先生が厳選したものなので、新しく買う必要はないです。応用は大学によって様々なので、先生に聞きに行くと良いです。入試問題を分析し、一緒に対策を考えてくださいます。

勉強においては、自分にあった勉強法を習得する事が大切だと思います。それを見つけるために、先生や友人や先輩など、多くの人のお話を聞いてください。すべてそのまま取り入れなくても、取捨選択して、やりやすいように変えていくと良いです。私は復習を重視していました。解説はすみからすみまで読んで、問題を解くよりも多くの時間をかけていました。問題集に取り組む時は、いつも後で復習する事を意識していました。最初に問題を解くのは、自分が解けない問題をあぶり出す作業です。赤ペンで書き込みをすれば赤シートで効率的に見直せます。解説に有る関連事項も書き込みます。使いやすい問題集を作っているようなものでした。

まずは、テスト前だけでも集中して勉強するようにしてみてください。目標が目の前にあるとやる気も出ますし、受験が近づくにつれてテストが増えるので、スムーズに勉強時間が増やせます。もし一夜漬けになっても、しないよりはしたほうが何倍も良いです。勉強せずに早寝をして頭が冴えていても、知識が入っていない事がより鮮明に分かってしまって、悲しいですからね。大学受験勉強を頑張った事は、今後の糧となります。後悔しないように、良い思い出を作ってください。



# 合格体験記

## 岡山大学教育学部養護教諭課程 (女子)

私は3年生になってからも、なかなか受験モードに入れない人間でした。切り替えるタイミングはいくらでもあったのに逃してばかりで、焦りや自分に対する苛立ちが積もる生活を送っていました。しかしある時、私は養護教諭になりたいと言っはいるものの、具体的なことは何も知らなかったという初歩的なことに気づいて、そのことが意識を変える転機になったと思います。高校や中学校、私の中学時代の先生が転勤された学校の保健室に行ってお話を聞いたり、養護教諭についての本を読んだりして、実際に働く先生の考えを知ることで次第に自分の夢が現実味を帯びてくるようになりました。具体的な目標がはっきりしたおかげで、気持ちを切り替えて勉強に打ち込めるようにもなりました。それでも私の場合、スタートがかなり遅かったので、センター試験前までの模試では目標点には程遠い点しか取れず、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、先生方や友人、家族の支えと、高校3年間の自分の努力を信じてみたいという気持ちでセンター試験を乗りきり、無事、大学に合格して自分の夢に一步近づけました。皆さんも自分の目標を早めに具体的なものにし、定めた夢に向かって、後悔の無いよう努力して行ってください。

# 合格体験記

## 岡山大学工学部機械システム学科 (男子)

受験生の時、私は、「達成したい目標に近づけるかどうか」という指針で「行動の優先順位」を考えるようにしました。どの科目を強化すべきか…提出書類の期限はいつまでで、出さないとどうなるか…などなど。それと滑り止めはしっかり考えて予定組むべきです。私立の一般試験は試験日が他の学校と被ったり、連続したりすることがあるので日程のチェックは必須であり、「滑り止め」としての機能を持たすには、過去問の分析は欠かせないものだと思います。もし軽い気持ちで受けると、貴重な時間と受験料数万円がドブです(実体験)。

吐いたり下痢になったり痔になったり滑り止めに落ちたり……私の高3ライフは思い返すと”How awful!”でした。それでも、腸も頭もユルユルなこの私が志望校に合格できたのは、我が母校の同級生と先生方の支えと情報共有によるところが大きかったです。時には笑い、時には励まし、時には議論して……。そうしている間に気付けば、もう大学生となり、なんだか夢のようです。高3の一年間は酷い思い出もありますが、予想に反し、それ以上に楽しい思い出も沢山できました。ほんとまあ十人十色で色々あると思いますが頑張ってください。悔いを残さぬように。

# 合格体験記

## 岡山大学農学部総合農業科学科 (女子)

私が推薦入試のためにしたことをアドバイスも含めて紹介します。  
まず、進路については、高校入学時から漠然と描いていたので、色んなことに興味を持ち、ひかれたことについては詳細に調べました。

推薦入試については、受験を突破するためのあらゆる方法が使えるように、二年生までに頑張っておき、最終的に三年生になってチャレンジしようと決めました。  
勉強面では、授業や課題に真面目に取り組みました。学校の勉強をこなすことで十分成績は伸びますし、評定をより高くできます。

また、自分の興味や関心のあることは必ず調べ、頭に入れるようにしました。サイエンスキャンプ等に数回参加しました。面接で使えますし、他の人が知らないことを知っていると自信がついてきます。

オープンキャンパスや説明会などには複数回通いました。学部長の挨拶等で学んできて欲しいことや、求めている人物像、力を入れている研究を話されます。入試までにそれらに沿った人物になれるように努力しましょう。

面接についてですが、わからないことはわからないと言い、聞き取れなかったら聞きなおす、とはっきりさせました。もたもたしていると時間が勿体ないですし、面接官も面接する意欲が下がると思います。

小論文については、出題傾向や書き方が分かったら、傾向に沿った勉強をしました。新書を読んだり、インターネットで出題されそうなニュースを調べたりしました。ある程度内容を把握したら、自分の考えを述べられるようにまとめた方がいいと思います。

最後に、一番大切なことは、諦めないことだと思います。自分の魅力を伝えられる推薦入試。志望学部分野において誰にも負けなくらいマニアックになり、自信をもって挑めば合格に近付けると思います。自分に負けずに、頑張ってください！

# 合格体験記

## 愛媛大学理学部物理学科 (女子)

私は高校1年生のころ、サイエンスキャンプに2度参加しました。そのころは推薦入試やAO入試のことは少しも考えていませんでした。ただ楽しそう、おもしろそうと思っていました。サイエンスキャンプでは、一般的に高校生活を送るだけでは体験できないようなことをたくさん経験しました。

私がAO入試Ⅱを受験すると決めたのは出願提出日の約1ヶ月前でした。この入試では出願時に志願理由書を書かなければいけませんでした。なので、もっと早くから考えておけばよかったと思いました。出願日は12月の中旬でセンター試験勉強の重要なときでした。志願理由書の制作とセンター試験の勉強の両立は思っていたより大変でした。センター試験後は面接の練習がありました。AO入試の筆記試験と面接はセンター試験の2週間後でしたが、自己採点や面談などで先生と面接練習ができたのは5日ほどでした。面接練習と筆記試験の勉強、一般前期入試の勉強はとても大変でした。試験から合格発表まで1週間ほどありましたが、その間はあまり前期入試の勉強に集中できませんでした。

最後に・・・私は志願理由書と面接ではサイエンスキャンプについて触れることができたので参加してよかったと思っています。みなさんには少しでも興味があるならいろいろなことにチャレンジして行ってほしいです。その経験がみなさんの進路を助けてくれるかもしれません。最後まであきらめずに頑張ってください。

# 合格体験記

## 滋賀医科大学医学部看護学科 (女子)

私が本格的に受験勉強を始めたのは3年生の夏休みからです。それまでは定期テストや模試のために頑張っているという感じでした。私は集中力が続かない方だったので放課後や休みの日には毎日図書館を利用していました。また、その日にやることをメモ帳に書いて計画的に勉強するようにしていました。これは気力を上げるためにも役立っていました。夏休みは主に理科、社会を勉強し、1つの問題集を活用し、できなかった問題はその日や次の日にもう一度解き、自分で解けるようになるまで復習するようにしました。受験勉強を通して一番大事だと思ったことは復習です。1、2年生のときは実際予習だけであまり復習をしていませんでした。定期テストのときにそこまでの分を一気にやらなければならなくなり、勉強時間が足りないということがよくありました。積み重ねが大切だと実感させられました。また、授業と並行しながら受験勉強を進めていくことは結構大変で焦りますが、やはりベースは授業だと思います。授業での問題を復習することだけでもかなりセンター試験のポイントを身につけることができました。追い込みに入るとセンター形式の問題を時間を計ってひたすら解いたり、隙間時間で毎日英単語や古文単語を見るようにしていました。不安はたくさんあると思いますが最後は自分を信じるのみだと思います。自信をもって頑張ってください。